

司法における国民的基盤の 確立をめざして

—司法を強くする4つの取組から考える—

●はじめに

なぜ、いま「司法における国民的基盤」を取り上げるのか
(午前10時35分開始予定)

●第1部

具体的な取組から考える—市民と司法がつながる取組

- 1 弁護士任官を進める
- 2 司法参加を広げる(裁判員の経験など)
- 3 法教育に取り組む
- 4 市民と司法をつなぐ(マスメディアの役割など)

(①②は午前10時50分、③④は午後1時30分開始予定)

●第2部

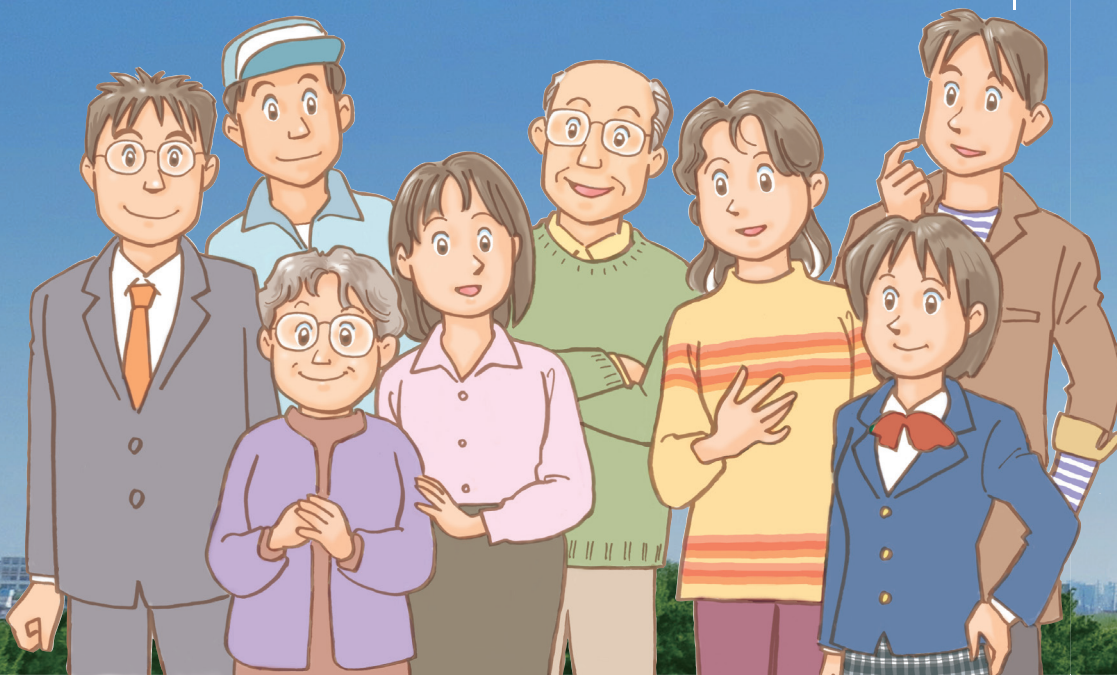
市民が支える司法をめざして (午後3時40分開始予定)

パネルディスカッション

曾我部 真裕 (京都大学大学院法学研究科教授)

宮川 光治 (弁護士/元最高裁判所判事)

豊 秀一 (朝日新聞編集委員)



[と き] 2018年 **9月29日(土)** 午前10時30分～午後5時30分

参加無料

(会員のみ要申込)
※一般の方は申込不要

[ところ] **弁護士会館2階講堂「クレオ」**

東京都千代田区霞が関1-1-3

東京メトロ霞が関(B1-b 出口)から徒歩1分/JR山手線有楽町駅から徒歩15分



web申込サイト

三権分立の一翼を担い、市民の人権救済の砦である司法が役割を一層果たすためには、司法に対する市民の理解と信頼を高めて「司法の国民的基盤」をより強くしていくことが必要です。司法を強くする4つの取組をふまえ、さらにパネルディスカッションで、「司法の国民的基盤」の強化に向けたこれからのあり方を考えていきます。

はじめに

午前10時35分～午前10時50分(予定)

なぜ、いま「司法における国民的基盤」を取り上げるのか

第1部

午前10時50分～12時30分／午後1時30分～午後3時30分(予定)

具体的な取組から考える ～市民と司法がつながる取組～

各取組担当者のメッセージです！ぜひ会場までお越しください！

1 弁護士任官を進める

日弁連は、弁護士から裁判官に任官する、いわゆる「弁護士任官」を積極的に推進していますが、現状は任官者数が伸び悩んでいます。弁護士任官者にインタビューして作成した任官推進DVDを上映しつつ、制度発展の道を探ります。

3 法教育に取り組む

司法の国民的基盤の確立は、法教育が目指す1丁目1番地です。法教育の様々な取組を紹介し、模擬裁判選手権が司法の国民的基盤の強化に大いに資することをお伝えします。

2 司法参加を広げる（裁判員の経験等）

これまで選任された裁判員は約6万人。補充裁判員は約2万人。裁判員経験者の経験を共有し、広めるための各地の活動を紹介しながら、国民の司法参加について考えます。

4 市民と司法をつなぐ(マスメディアの役割等)

市民と司法との距離を縮めるためには、どうしたらいいのでしょうか。法曹の視点、市民の視点、マスメディアの視点、それぞれから司法を考えます。

第2部

午後3時40分～午後5時30分(予定)

市民が支える司法をめざして

登壇者のご紹介

第1部で報告したそれぞれの取組を踏まえて、司法の国民的基盤を強めていくために、これから目指すべき制度や具体的な施策などについて、パネルディスカッションで議論を深めます。

曾我部 真裕（京都大学大学院法学研究科教授）
宮川 光治（弁護士／元最高裁判所裁判官）
豊 秀一（朝日新聞編集委員） ほか ※五十音順

会場（弁護士会館）へのアクセス



- 東京メトロ 霞ヶ関駅B1-b出口から徒歩1分
- JR有楽町駅から徒歩15分

本シンポジウムの参加について

- 事前申込みは不要です。
- 参加費は不要です。

お子様の一時保育サービスについて

シンポジウム中、ベビーシッター（保育資格者）によるお子様の一時保育サービスをご利用いただけます。

希望される方は期限までに下記連絡先までお申し込みください。

- 申込み期限：8月31日(金)午後5時まで



本シンポジウムに関する問い合わせ先

日本弁護士連合会法制部法制第一課
電話：03-3580-9978